

子ども総合センターだより

あした

明日もしあわせ通信 (第60号) 令和3年6月号

命のバトンをつなぐ

本屋大賞は書店員が選ぶ賞。2年前本屋大賞に選ばれた瀬尾まいこさんの著書「そして、バトンは渡された」を読んだ。私には5人の父と母がいる。(母親が2人 父親が3人) 家族の形を変えながら主人公の優子は成長していく。軽快な会話で話が進み、その場面の情景が目につかんでくる。

家族の形に正解などない。色々な形があつていい。家族になるのに必要なのは必ずしも血のつながりではないことに気付かされる。相手を本当に大切に思えるかどうか、人と心からつながるかどうかである。昨今、児童虐待、体罰、自殺等で尊い命が失われている事件が多い。将来に夢と希望があるのにもかかわらず、途中で命の火が絶たれていく。それも家

庭内での出来事。そんな報道を見聞するにつけ、家族って何だろう、親子って何だろう、幸せってなんだろう、とついつい考えてしまう。

2019年度に対応した18歳未満の子どもの虐待件数は19万3780件と過去最高。(厚生労働省報告)。その傾向は年々増加の傾向にある。命のバトンをしっかり受け継いで生きていってほしいと願う。

今年の本屋大賞は

「52ヘルツのクジラたち」

(町田そのこ著)。

誰にも届かない孤独な声。聞こえた時にそれとやかに向き合えるかが鍵。虐待を取り上げた一冊である。



(K・H)

～はばたき教室(学校に行きにくい子の学びの教室)～

(気軽にお越しください)

5月も終わりの頃になると、「子どもが学校に行けなくなり、どうしたらよいか分からない。」と保護者の方が相談に来られます。子どもはふとしたことで気持ちが沈んだり、学習への不安や友達からの何気ない言葉で悩んだりしています。

家庭では、子どもが学校に行けてなくても普段通りに接してください。もし、子どもの方から話しかけてきたときは黙って話を聞き、何よりも胸の内を話せたことへの感謝の気持ちを子どもに伝えてください。今後、どうしたいのかを決めるのは子ども自身です。子どもは自分の思いが決まると、しっかりと前を向いて歩み始めます。

ご家庭で悩まれている方は、気軽にお子さんとはばたき教室を訪れることを、選択肢の一つにしてはいかがでしょうか。相談や見学は、下記のような手順で行っています。

- 1 学級担任の先生に伝えるか、保護者の方が直接はばたき教室に電話をしてください。
- 2 来室希望日を相談します。予約された日に相談を行い、希望すれば教室見学も行います。
- 3 子どもの希望があれば、実際に体験入室もできます。一日だけの体験も可能です。

はばたき教室に通っている間に、子どもたちは元気を取り戻し、楽しく活動しています。

はばたき教室 TEL 089-989-5022 はばたき教室 携帯 080-2974-4581

四つ葉のクローバー

4月の終わりにお誘いを受けて、シロツメクサを採りに伺い、四つ葉のクローバーをたくさんいただいて帰りました。

知り合いに届けると、息子さんが事故にあって入院しているので、見せてやりたいと、とても喜んでくださいました。気を良くした私は、友達や身内にプレゼントして回り、みんなに笑顔をいただきました。四つ葉効果はかなりのものです。

四つ葉のクローバーは、葉っぱの1枚1枚がそれぞれ「希望」「誠実」「愛情」「幸運」を象徴しており、4枚あると幸運が訪れると言われていています。

シロツメクサが代表的ですが、他にもカタバミも四つ葉が見られます。カタバミは歩道の隅や、植え込みの

中に生えています。

私は散歩の途中にカタバミを見かけると、四つ葉はないか探すようになりました。まだ、1本しか見つけていないのですが、見つかる喜びもひとしおです。

たまには親子で散歩して四つ葉を探してみてもいいがですか？意外と子どもさんの方が目線が低いので見つけやすいかもしれませんよ。

幸運を喜び合えることうけあいです。(A)



センター長のつばやき

4月第2週の夢（準備した人が勝つ）

夢を叶えた松山英樹選手。解説席で中嶋さんも涙し、55秒間の沈黙が続いた。私も涙が溢れた。とてつもない快挙である。

マスターズは、毎年オーガスタ・ナショナルGCで開催される。回数を重ねることができれば、戦略性も高まる。松山選手の映像が映し出された。グリーンまで残り220ヤード、右からのアゲインスト。6番アイアンで低い球をドローク気味に打つ。キャディーとともに必死でメモをとっていた。目の前の1打のためだけではない。オーガスタに再び帰ってきた時に、最良の1打を打つためのメモ。この10年間の蓄積と鍛えに鍛えたメンタルと技術で、とうとうグリーンジャケットに腕を通した。

最高の準備をした人が勝ったのだ。「見てくれているジュニアといつの日かここで一緒に戦えることを願っている。」と。

夢を追いかけ、私と家族のように過ごしたY君（松山選手と親しい17歳）が、錦織圭さんを通った、フロリダ州IMGアカデミー（ゴルフ）に出発した。大学卒業までいると言う。第2週の夢をともに見られることに感謝。(DOI G)



《発達支援巡回相談》

ことばの心配 ありますか

まん延防止等重点措置の発令中、自宅でゆっくり過ごされましたか。お子さんとの会話ははすみましたか。我が子がなかなかしゃべらないと、親は心配で何とかしたいと焦りますよね。

そんな時はまず親子で遊ぶことをお勧めです。ぐるぐる回ったり追いかけてこしたり回転の遊び。おでこおでこをごつつんやくすぐりっこなど触覚を使う遊びも。子どもが面白いなと思っているなら何でもOK。一緒にいると楽しいなと思う大人であるかどうか大切です。楽しい経験や刺激が十分に与えられると、脳の発達が進み、ことばも進むというわけです。

子どもとの会話を楽しく心地よくする上手なことばがけも大切です。「お・は・よ・うー」「ああおいしい」「あったかいね」「できたね」「ありがとう」など。親の発することばを聞いて、子は真似っこしながら学んでいきます。「ま・ん・ま」我が子が初めて喋った時の感動を大切に。我が子のペースで大丈夫と信じていきましょう。(K)

伊予市子ども総合センター
〒799-3127 伊予市尾崎3-1
伊予市総合保健福祉センター2階
☎989-6226